

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 6 日現在

機関番号：32634

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2016

課題番号：26370800

研究課題名(和文) 文系私立大学における学徒出陣の基礎的研究

研究課題名(英文) Basic research of departure of students for the front in Faculty of liberal arts private university

研究代表者

新井 勝紘 (ARAI, KATSUHIRO)

専修大学・人文科学研究所・参与

研究者番号：40222707

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,700,000円

研究成果の概要(和文)：私立文系大学における学徒出陣の実態を明らかにするという研究目的を達するため、まず、研究対象を専修大学とした。その理由としては、専修大学が明治13年に創立されて以降、現在に至るまで経済学・法学などの社会科学・人文科学系の学部のみを有する典型的な私立大学だからである。研究のために実施したのは、専修大学が所蔵する戦時下の資料調査、そして戦争を体験した卒業生へのアンケート調査および聞き取り調査などである。34回分の聞き取り調査の翻刻、41名分のアンケートの回答結果、戦争体験者の手記などをまとめた「研究成果報告書」を400部作成し、関係者および関係機関に配布した。

研究成果の概要(英文)：To achieve the study purpose of making the reality of the departure of students for the front in a private faculty of liberal arts university clear, first, the subject of research was made Senshu University. Because Senshu University was established in 1880 as the reason, and after a while was a typical private university which possesses only a department of social science of economics and law and a cultural sciences course up to now. The one put into effect for a study is a questionnaire survey to resource research under the wartime Senshu University possesses and the graduate who experienced a war and interview survey. 400 copies of "report of study results" which gathered a reply result and notes of the war experience person of a reprint of interview survey and a questionnaire for 41 people for 34 times was made and it was distributed to the person concerned and a related engine.

研究分野：日本近現代史

キーワード：私立大学 戦争 学徒出陣 戦時下 軍事郵便 聞き取り調査

## 1. 研究開始当初の背景

学徒出陣をテーマとした著作の多くは、経験者の手による記録であった。『きけわだつみのこえ』(1948年)には学生の日記や遺書が所収されているが、あくまでも戦病死した学徒兵を対象としている点で限定的である。また、制度的アプローチにおける研究は福間敏矩氏(『学徒動員・学徒出陣：制度と背景』1980年)によってなされたが、同氏もまた当時、文部省学徒動員本部に勤務していた。終戦から50年を迎えるまでは、まだ学徒出陣の経験者が多いからこそ、日本近現代史としての実証的方法による学術的研究が困難であったといえる。

主に学徒出陣の対象となった文系の私立大学では百年史などの大学沿革史が編纂されているが、いずれの大学も戦時期の一要素として記述しているに過ぎず、大学の正史として積極的に調査・研究した成果を掲載したものは少なかった。一方、近年では大学史研究機関において学徒出陣を研究している大学があり、事例として明治大学・慶應義塾大学・早稲田大学・立命館大学などが挙げられる。しかしながら、いずれの成果をみても個別的な範囲の解明にとどまっており、総合的な研究までには達していないのが現状である。正確な人数を把握していない大学も多い。「戦争と大学」という日本近現代史における重要なテーマを考察するに際して、学徒出陣という事象を大学の垣根を越えて横断的に研究し、発展・深化させることが必要不可欠であり、個別の事例報告ではまだまだ素材が足りないといえよう。

2014年は学徒出陣から70年を迎えた。1993年の学徒出陣50年から70年を迎えるまでの20年で、研究を取り巻く環境が劇的に変化した。それは各大学における大学史研究の進展、公文書管理法など資料保管環境の整備、そして東日本大震災の影響による資料保存意識の向上である。さらに、学徒出陣を経験した元学徒兵は最も若い世代でも現在90歳前後を迎えており、この20年で生存者が劇的に少なくなっている。また、生存されていても聞き取り調査に対応できる方となると更に限定されてしまい、時間を経るとともに関係する資料の散逸も深刻となるため、早急なる調査・研究が必要である。

こうした研究状況を踏まえ、本研究は文系私立大学の学徒出陣の実態解明に迫り、生存者の確認を急ぎ、最後の機会となる聞き取り調査による体験の記録化を行い、「戦争と大学」の関係を日本近現代史上に位置づける基礎的研究を行うものである。

## 2. 研究の目的

本研究は、1941年以降に行われた文系私立大学における学徒出陣の実態を明らかにするものである。学生の投入は戦争末期に過ぎないと考えられているが、大学で行われていた軍事教練は1925年に始まり、近代日本の戦争と大学を考

えるうえで有効なテーマである。経験者の多くが90歳前後となる今が、聞き取り調査や名簿による実態調査等、基礎的研究を行うための素材を集めることのできる最後の局面でもある。

具体的な研究項目として、以下の3点を掲げる。

(1) 典型的な文系私立大学の学徒出陣の実態を解明する。

(2) 戦没者の確定と、生存者及び関係者からの聞き取り調査をする。

(3) 戦前から現在に至るまでの大学と戦争の関係について考察する。

以上の目的をもって、本研究を進めていった。

## 3. 研究の方法

研究項目に掲げた3つの項目を進めていくために、以下のような方法で研究を進めた。

研究目的(1)「典型的な文系私立大学の学徒出陣の実態を解明する。」

基礎作業として、専修大学が保管する

「学徒動員名簿(入営部隊々簿)」のデータ化を行った。また、そのほか戦友会などが作成した名簿から専修大学関係者の戦没者を可能な範囲でデータベース化した。

研究目的(2)「戦没者を確定し、生存者からの聞き取り調査をする。」

学内に残る学籍簿等や校友会名簿を利用した戦争体験したと思われる世代の存命者に対してアンケート調査を実施した。またアンケート対象者のなかから合意を得られた方に対して聞き取り調査を行った。

研究目的(3)「戦前から現在に至るまでの大学と戦争の関係について考察する。」

専修大学が所蔵する戦時下の資料を調査し、目録した。とくに文部省と大学がやり取りした資料に着目し、戦時下における大学の対応を示す資料については撮影・翻刻作業を行った。

## 4. 研究成果

研究成果は主に2冊の図書に掲載している。1冊目は2015年10月に専修大学出版局から刊行した『専修大学史資料集 第七巻 専修大学と学徒動員』である。本書は第1章に戦争に関わった専修大学教員や学生の戦争体験記を、第2章に専修大学が所蔵する戦争に関する資料を、そして第3章には学徒動員名簿を収録している。研究目的(1)および(3)の成果の報告が本書にあたる。

2冊目の、2017年3月に作成した「研究成果報告書」には、34回分の聞き取り調査の反訳、41名分のアンケートの回答結果、関係者の手記および資料の翻刻36点、最後に研究代表者である新井勝紘の手による総合解説を掲載した。ここには主に研究目的(2)の成果を報告している。

なお聞き取り調査については、以下の日程で

行った。

清水秀雄（昭和 10 年法学部卒業）  
実施日：2014 年 4 月 22 日  
場 所：ご自宅（千葉県）  
担当者：瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：昭和 3 年予科入学から 7 年間に在学、  
創部間もない頃の自動車部に所属  
盧中庸（昭和 23 年専門部政経科卒業）  
実施日：2014 年 6 月 14 日  
場 所：専修大学神田校舎（東京都）  
担当者：瀬戸口龍一  
備 考：昭和 15 年に台湾より来日、明大付  
属中学を経て入学  
山口吉国（昭和 16 年経済学部卒業）  
高信忍（昭和 19 年経済学部卒業）  
実施日：2014 年 6 月 15 日  
場 所：山口氏ご自宅（静岡県）  
担当者：新井勝紘・瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：両者とも野球部に所属、山口氏は卒  
業後に陸軍、高信氏は昭和 18 年学徒出陣で  
陸軍へ  
原田稔（昭和 19 年法学部卒業）  
実施日：2014 年 6 月 16 日  
場 所：ご自宅（静岡県）  
担当者：新井勝紘・北口由望  
備 考：昭和 18 年学徒出陣で海軍へ  
白鳥賢一（昭和 13 年経済学部卒業）  
実施日：2014 年 6 月 23 日  
場 所：ご自宅（長野県）  
担当者：瀬戸口龍一  
備 考 野球部に所属、卒業後に陸軍へ  
杉浦一義（昭和 25 年経済学部卒業）  
実施日：2015 年 6 月 25 日  
場 所：ご自宅（神奈川県）  
担当者：瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：予科時代に川崎の工場にて学徒勤労  
動員  
清水秀雄（昭和 10 年法学部卒業） 2 回目  
実施日：2014 年 7 月 25 日  
場 所：ご自宅（千葉県）  
担当者：新井勝紘・北口由望  
吉江正春（昭和 25 年専門部経済科卒業）  
実施日：2014 年 8 月 16 日  
場 所：吉江経営財務事務所（福岡県）  
担当者：新井勝紘・瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：海軍兵学校出身  
一力敏（昭和 19 年経済学部卒業）  
実施日：2014 年 8 月 17 日  
場 所：ご自宅（佐賀県）  
担当者：新井勝紘・瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：相撲部に所属、昭和 18 年学徒出陣  
で陸軍へ  
中村幸昭（昭和 26 年経済学部卒業）  
実施日：2014 年 9 月 2 日  
場 所：鳥羽水族館（三重県）  
担当者：新井勝紘・瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：四日市空襲を経験  
栗野道男（昭和 25 年経済学部卒業）  
実施日：2014 年 9 月 3 日  
場 所：ご自宅（岐阜県）

担当者：新井勝紘・瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：在学中に召集され陸軍へ、終戦後に  
復学  
小牧治市（昭和 23 年経済学部卒業）  
実施日：2014 年 9 月 3 日  
場 所：ご自宅（岐阜県）  
担当者：新井勝紘・瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：昭和 18 年学徒出陣で陸軍へ、終戦  
後に復学  
都築良次（昭和 20 年専門部政経科卒業）  
実施日：2014 年 9 月 4 日  
場 所：ご自宅（愛知県）  
担当者：新井勝紘・瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：在学中に召集され陸軍へ、終戦後に  
復学  
小島荘三（昭和 21 年経済学部卒業）  
実施日：2014 年 9 月 23 日  
場 所：ご自宅（神奈川県）  
担当者：瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：昭和 18 年学徒出陣で陸軍へ、終戦  
後に復学  
内正秀（昭和 27 年商経学部卒業）  
実施日：2014 年 11 月 17 日  
場 所：専修大学神田校舎（東京都）  
担当者：新井勝紘・瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：在学中に召集され陸軍へ、終戦後に  
復学  
横山開日（昭和 22 年経済学部卒業）  
実施日：2015 年 2 月 19 日  
場 所：ご自宅（東京都）  
担当者：北口由望・石綿豊大  
備 考：昭和 17 年予科入学、学部 1 年生の  
とき学徒出陣で陸軍に入隊し、戦後復学  
大山信（昭和 23 年専門部政経科卒業）  
実施日：2015 年 4 月 18 日  
場 所：専修大学神田校舎（東京都）  
担当者：瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：昭和 20 年専修商業学校を卒業して  
大学進学、在学中は拳闘部に所属  
桑原喜久治（昭和 23 年専門部政経科卒業）  
実施日：2015 年 5 月 29 日  
場 所：ご自宅（東京都）  
担当者：新井勝紘・瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：在学中に学徒出陣で陸軍に入隊、  
仙台陸軍予備士官学校を経て南方へ出征し、  
戦後復学  
藤間亨（昭和 25 年 12 月経済学部卒業）  
実施日：2015 年 6 月 14 日  
場 所：ご自宅（島根県）  
担当者：新井勝紘・瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：昭和 19 年専門部政経科に入学、翌  
20 年徴兵検査を受けるも終戦  
佐々木勉吉（昭和 25 年 3 月経済学部卒業）  
実施日：2015 年 6 月 15 日  
場 所：ご自宅（広島県）  
担当者：新井勝紘・瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：昭和 16 年予科に入学、学部 2 年生  
のとき学徒出陣で陸軍入隊、シベリア抑留を  
経て戦後復学

②野崎洋子（故野崎泰一夫人）

- 実施日：2015年6月16日  
場 所：ご自宅（広島県）  
担当者：新井勝紘・瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：泰一氏は専門部経済科2年生のとき学徒出陣で陸軍に入隊、戦後はプロ野球選手として活躍
- ②②原田敬（昭和21年経済学部卒業）  
実施日：2015年6月16日  
場 所：広島空港会議室（広島県）  
担当者：新井勝紘・瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：昭和16年予科に入学、学部2年生のとき学徒出陣で海軍に入団し、戦後復学。在学中は野球部に所属
- ②③滝崎澄代夫（昭和18年専門部法科卒業）  
実施日：2015年7月7日  
場 所：ご自宅（東京都）  
担当者：新井勝紘・石綿豊大・北口由望  
備 考：大学卒業と同時に海軍飛行専修予備学生に採用、航空隊に配属され最終的に特攻要員
- ②④横山栄次（昭和19年経済学部卒業）  
実施日：2015年7月28日  
場 所：ツクイ・サンシャイン吉川（埼玉県）  
担当者：新井勝紘・北口由望  
備 考：昭和14年専門部経済科に入学、学部3年生のときに学徒出陣にて陸軍に入隊
- ②⑤宮沢七郎（昭和19年経済学部卒業）  
実施日：2015年8月19日  
場 所：ご自宅（長野県）  
担当者：新井勝紘・瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：昭和14年予科に入学、学部3年生のときに学徒出陣で陸軍に入隊
- ②⑥中戸和則（昭和23年経済学部卒業）  
実施日：2015年8月20日  
場 所：ご自宅（長野県）  
担当者：新井勝紘・瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：昭和20年予科修了後陸軍に入隊し、本土沿岸防衛隊に配属され、戦後学部へ進学
- ②⑦関知美（昭和24年経済学部卒業）  
実施日：2015年8月21日  
場 所：上田生コン株式会社（長野県）  
担当者：新井勝紘・瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：昭和18年専門部計理科に入学、在学中の同20年陸軍に入隊し、戦後学部へ進学
- ②⑧山口義二（昭和32年商経学部経済学科卒業）  
実施日：2015年9月17日  
場 所：日本道路興運株式会社（東京都）  
担当者：瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：昭和18年予科に入学、翌年海軍予備生徒に採用され、最終的に海軍省経理局勤務
- ②⑨滝崎澄代夫（昭和18年専門部法科卒業） 2回目  
実施日：2015年10月28日  
場 所：ご自宅（東京都）  
担当者：北口由望
- ③⑩小島莊三（昭和21年経済学部卒業） 2回目  
実施日：2015年10月29日  
場 所：ご自宅（神奈川県）

- 担当者：北口由望
- ③⑪松原勇吉（昭和18年専門部商科卒業）  
実施日：2015年12月17日  
場 所：ご自宅（神奈川県）  
担当者：新井勝紘・北口由望  
備 考：卒業後の昭和19年陸軍に入隊し、中国戦線へ出征
- ③⑫砂田武雄（昭和27年商経学部卒業）  
実施日：2016年4月21日  
場 所：専修大学神田校舎（東京都）  
担当者：新井勝紘・瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：昭和18年10月海軍甲種予科練習生に採用され鹿児島海軍航空隊に入隊、中国で終戦を迎え、昭和22年予科に入学
- ③⑬砂田武雄（昭和27年商経学部卒業） 2回目  
実施日：2016年5月19日  
場 所：専修大学神田校舎（東京都）  
担当者：北口由望
- ③⑭諸角弘（昭和28年商経学部卒業）  
実施日：2016年7月7日  
場 所：ご自宅（山梨県）  
担当者：新井勝紘・北口由望  
備 考：昭和20年4月陸軍入隊、新潟県高田から仙台へ転属し青森県八戸で終戦、昭和24年商経学部経済学科に編入学、在学中は立川米軍基地でアルバイト
- ③⑮菊田正夫（昭和18年専門部経済科卒業）  
実施日：2016年7月16日  
場 所：ご自宅（茨城県）  
担当者：新井勝紘・瀬戸口龍一・北口由望  
備 考：昭和16年4月専門部経済科に入学、昭和18年9月に卒業し同年12月陸軍のガス部隊に入隊、幹部候補生となり陸軍習志野学校を経て、鳥取県で終戦

## 5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

- 〔雑誌論文〕（計4件）  
北口由望「研究ノート 専修大学と学徒出陣の時代-「学徒動員名簿」の分析をもとに-」（『専修大学史紀要 第8号』2016年3月）査読無 47-62  
瀬戸口龍一「聞き取り調査報告 台湾校友会・盧中庸元会長に聞く」（『専修大学史紀要 第7号』2015年3月）査読無 19-36p  
新井勝紘「講演録 上原敏の軍事郵便について」（『専修大学史紀要 第7号』2015年3月）査読無 51-57p  
瀬戸口龍一「史料紹介 上原敏の軍事郵便と中国慰問日記」（『専修大学史紀要 第7号』2015年3月）査読無 58-67p

〔学会発表〕（計1件）  
瀬戸口龍一「学徒出陣の記憶と記録」  
法政大学学出陣調査中間報告会「戦後70年法政大学と出陣学徒-記憶と記録-」  
日時：2015年11月23日

場所：法政大学市ヶ谷キャンパス  
ボアソナード・タワー26階 スカイホール

〔図書〕(計2件)

『「文系私立大学における学徒出陣の基礎的研究」研究成果報告書』(専修大学総務部大学史資料課 2017年3月)393p

『専修大学史資料集 第七巻 専修大学と学徒出陣』(専修大学出版局 2015年10月)597p

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕(計2件)

戦後70年記念企画展「専修大学と学徒出陣」

会場：専修大学生田校舎9号館エントランスホール

会期：2015年11月6日～12月5日

上原敏没後70年記念企画展「太平洋に散った人気歌手」

会場：専修大学今村力三郎記念ホール

会期：2014年10月17日～26日

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

新井 勝紘 (ARAI KATSUHIRO)

専修大学・人文科学研究所・参与

研究者番号：40222707

### (2) 研究分担者

瀬戸口 龍一 (SETOGUCHI RYUICHI)

専修大学・総務部大学史資料課・次長

研究者番号：30645916

### (3) 研究協力者

北口 由望 (KITAGUCHI YUMI)

専修大学・総務部大学史資料課・課員